

私たちの贈物に喜ぶ子供たち

大阪女の意地と情  
愛を描く文芸映画  
花のれん

夫吉三郎のかわりに支払い台の前に座る多加は、つめかける集金人たちに何度も辛い断りを続け、根のきた感じだつた。おまけに朝から金を都合するといつて出かけた吉三郎は、捨バチの気持から行きつけの料亭で芸人遊びに夢中で挙句は無い金をもつて迎えにこゝという呑気さである。

ついに河島屋は倒産した。残つてきた金も、つめかける集金人たちに何度も辛い断りを続け、根のきた感じだつた。おまけに朝から金を都合するといつて出かけた吉三郎は、捨バチの気持から行きつけの料亭で芸人遊びに夢中で挙句は無い金をもつて迎えにこゝという呑気さである。

多加は資金の不足を苦高利貸しの石川きんから出資せよとものに、自分は寄席の入口に屋台をしつらえ、冷しアメを売つて立直りに懸命の努力をした。

その甲斐あつて、天満亭は繁昌してきたが、そのなるとまた吉三

目録を術と云ふしたこ  
 とから知りあい、彼女  
 の心は火のような女  
 ♫としての多情にもえ  
 た。やがて法華寺の金  
 沢亭も買いとり、四季  
 の花をおぼろ染にし「  
 花菱草」と染めぬいた  
 花のれんをかかげた。  
 折も折、安米節が関西  
 一円を風じにかけてい  
 た。これに眼をつけ男  
 勝りの腕を発揮した。  
 (二十五日から太陽館  
 で上映)

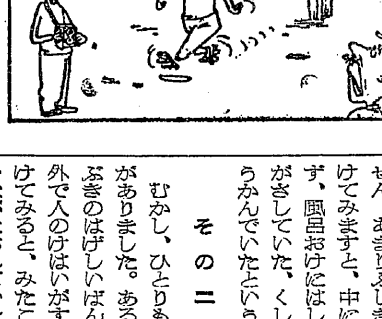
日本昔ばなし—  
 ゆき  
 その一  
 むかし、ひとりもの男が  
 ました。ある冬のむむ朝、  
 はたからさがつたがま(つ  
 )をみて、  
 「あつたに細くてきれいな女  
 おらのよめこになつてきたら  
 んなによから」  
 とおもひ、おもわず

「どうかして、あ  
んなに――と、お

[illegible]

「どうかして、あ  
しな」とハハ主

「だれだ」  
「わたしは、ひる  
ごいます」とて  
は」をあけて  
「さあさあ入れ

[illegible]

新しい女の生きかた

日本の主婦

はげしい資本攻勢の中で、労働者が闘いをすすめるのに主婦の方がどれだけ大切な役割をするか、私たちは数多くの体験で知っています。

二百数十日もの長い間、会社の組織分断工作にも負けずに闘った王子製紙労組の主婦や、日鋼重鋼の主婦たちは「一人一人は無であり、団結こそすべてです」と叫びながらはげしく闘い続けました。また三池炭鉱の主婦は百十三日の

でも長い闘いを続けました主婦の歴史を知り、組織の裏体をみつけて、だんかんに助けあえる主婦になりたいものです。

この本を特に三池のみなさんに読んでもらうたいのは、夫とともにぐという中に「炭婦協の歩いたみち」として、炭婦協の結成とその活動が他産業の闘争力にあえた影響、労働者と主婦の立場、世界の動き、これからの主婦のすすむ道をおしえているからです。

（たていし・たけひろ）

永丘智郎著 三一書房 新書版 一四〇円

ある日、男の友だちがあとびにきましたので、女は「こちらをうつくるためにそがしく立ちはたりますました。しばらくたつて男は、こちらができたころだろうと女をよびましたが、へんじがありません。どうしたのだろうとおもつて台所についてみますと、かまどの前にびしょびしょにぬれた女のきものだけがそっくり残っていたそうです。

（おわり）